43億の赤字の責任を明確にせよ!!

発行所
三池炭鑛勞働組合
大牟田市不知火町
電話3033番
炭鉱 528 475 番

編集発行人 平島敏治
三鉱労組印刷工場

三鉱労組 機関紙

書記局便り

六月十五日 九本代表者会議 推薦保安委員会
六月十九日 三山専門委員会 西鉱連）共同編集会議
六月二十日 統合専門委員会
〃 健康保険理事会

赤字の責任をとらぬ 反省のない態度に

三鑛連としては協力出来ない

四三億の赤字説明を会社がなしたとき、なんら具体的な企業再建の案ももたずに、今後會社の経営に協力願うの一点張りで、再建方式は提示されずにいたので、この赤字を出した三井の経営をどの様にするか明確にせよと要請していたところ、六月四日社長はじめ各重役が出席し、齊藤常務より非常事態打開のため業務各般に亘つて、緊急改善方策を実施すると前報の如き多角経営を含む企業再建案を説明した。

人事移動も疑問だ

会社の一応の説明に対し、組合としては次のような質疑をなした。

組合 生産制限についてどう考えているか。

社長 生産制限は現在の所行う意志はない。

組合 本日説明された会社の緊急改善方策は見るべきものはない今日の状態は政府の燃料政策の貧困であつて この事に対して如何なる態度をとつているのか。

社長 会社として種々働きかけつつある（例えば外国炭 石油等の輸入）

組合 会社改善方策の内容の説明で、人事の刷新、管理者の信賞必罰と云われているが、決算で明らかな如く四三億の赤字が出された。四三億の赤字に対して責任の所在を会社首脳部としてどう考えているか

経営者に対して非常に不信であるし不安動揺している 四三億の損害は類例のない所であつて善良な管理者として責任をどう感じどう責任をとるのか。

社長 責任は十分感じて四三億の決算をした、他に決算の方法もあつたかと思いますが今后の再建方策を考えての決算であつた

責任の問題についてどうするかは重要な問題であるし、今すぐは重要な問題であるだけに申上げられない、私の措置は私に任して戴き度い、経営者全部がやめるとしても責任が回避できないし経営も困ります。

組合 われわれに協力をもとめられても責任も明確にされないし協力はできない、四三億の責任の所在を内外に明確にすべきだ又緊急改善方策の中で説明された今回の人事移動は素直な気持で受け入れる事ができない。

今后起り来る一つ一つの問題処理の中でわれわれの態度を明確にするつもりである。

労資の安定方策を出されているが、不信と不安をもつている現在協力できない、今后の緊急事態を乗り切るため責任を如何にしてとるかは経営者自身が真剣に考え態度を決定すべきだ。

（散会）

再建案 問題にせず

執行部で方針決定

執行部は七日執行委員会に於て再建案に対する当面の方針を次のように定めた。

1、四三億の赤字の責任を、どのようにとるかを何ら明確にせず再建案を提示した事は全く反省のない態度であり三鉱連としては諒解できない（会社に対する不信）

【註】このことは説明会で明確に申入れた。

再建案そのものについても当然日常経営面に於て処理すべき事項であつて、当を得た適切なものとは認められない。

2、三鉱連は、経協、生協、昇給期手等の闘争を遂行するが、これらの問題は、当然再建案と関連する事が予測されるので、その準備を行うが再建案についての方針を出す事は今考えていない（従つて正規機関の招集は考えていない）

3、各山は、これに準じた説明をきいても深入することなく注意されたい。

前進

亂闘國會を正しく批判せよ

國会史上最大の汚点を残した六月三日夜の亂闘事件はその後國民各階層の痛烈な批判を受けたが、どうやら五黨会談なるものによつて一應のケリがつきそうである。然しわれわれはこれ程の世紀末的事件を日本人特有の淡白さで短時日の間に忘れ去ることが出来ないと共にこの問題の底にひそむ日本の腐敗とこの解決の方向に無関心であつてはならない。

（二）

そもそも開きなおるまでもない事だし、吉田政府の直系でもない限りこの事件の真因が政府ならびに自由黨、改進黨の数の暴力にあることは否定する者もなく言い盡されている處である、にも拘らず暴力を振つたのは左、右社会黨だけであり、自由黨の代議士諸公は指一本出さずにナグレつぱなしであつたかのような印象を受け、或は暴力に訴えなくとも他に会期延長を阻止する方法がいくらもあつたかのような宣傳が為されていることは充分の警戒を要するであろう。

言うまでもないことであるがピケを張つて堤議長の登壇を拒んだのは社会黨であるが、先に手を出し、佐竹代議士に唐手の當身を喰わせ、婦人議員の服をズタズタに引き裂く程の暴力を行使したのは自由黨の議員自身に他ならない。

又われわれは吉田政権の國会で是非の討論さえなされずアッという間に多数決で会期が延長され、國民の自由を奪う悪法が生み出された数々の事実を知つている。今回の事件も、この苦い経験と、全國民の総スカンを食いながらも警察法の改正を通過させようとする、余りにも見えすいた工作への唯一最後の手段であつたと見ねばならない。

（三）

満身疑獄につゝまれながら國民に詫びることを知らず、泥棒よりも恥ずべき收賄の事実がありながら政府の存命を計る為には獨立絶対であるべき司法権にまで指揮権を發動し、國民の自由を奪う総仕上げの為には警察法改正が通過するまで是が非でも國会を延長する吉田であり自由黨である。彼等のどこに一片の民主々義があり、國民の道義昂揚を説く資格があるであろうか。而も最も笑止千万なことは厳正な法の裁きを受けるべき佐藤幹事長が法相の指揮権發動で命からがらの身をも顧みず社会黨議員の懲罰を取り上げたことである。これではまるで特飲街の女達が親のために身賣りした娘の貞操を責めているの圖にしかならない。

社会黨のピケによる会期延長阻止の行動は國会を混亂に陥入れた直接の動機として批判はされても理窟抜きの会期延長によつて全國民の将来に暗黒をもたらす法案を通過させる陰謀よりもはるかに、はるかに罪は軽いといわねばならない。

（四）

最後に今回の事件が五黨会談によつて事態の收拾が計られ左右社会黨の國民に對する陳謝でケリがつくことは誠に遺憾である。我々に言わしむるならば余りにも政治的すぎるこの解決は臨時國会で如何に理窟を並べてみても後の祭り、第十九國会の延期と警察法の改正を事実上認めた事を立証することにしかなるまい。何故いさぎよく懲罰に服してでも会期延長無効を死守しないのか、國民は今日までの政府、自由黨の腐敗と横暴と祕密主義に對して社会黨だけの懲罰を許す筈はないと信ずるものである。

こと今日に至り左右社会黨に望むことは陳謝はあくまでも八千万國民に對してであり、金力と権力にではないことを肝に銘じてもらいたいのである。

これが亂闘國会だ

今年の目標額九億圓 個人加入も認む

労金第二回總會開かる

五月廿五日午前十時半より福岡市記念館において労金第二回総会を開催し、経過報告、決算報告 監査報告及剰余金処分、廿九年度事業方針に基づく組織変更、廿九年度事業計画等を夫々確認決定した。なお剰余金処分に就ては出資金に対して年六分の配当をする事になつた。廿九年度事業計画に就ては

一、本年度出資目標を六千五百万円とし、六、七、八の三ケ月に組合員人当り百円の割合で増資を図る。

二、労金法に基く定款に依り個人出資加入を認める。目標達成のため左の諸事項を推進する。

①罷業資金（生活資金）の労金切替へ。
②生活資金の倍額積立運動を展開する、
③会社預金、銀行預金 郵便貯金の労金切りかえを図る。
④個人会員又は組成員、家族の自由預金並に生活文化預金の奨励をはかる。
⑤住宅建設資金積立の奨励をはかる。
⑥割増金付第二回〃あけぼの〃定期預金（期間六ケ月）の取扱いを十一月、十二月に実施する。
⑦その他

四、貸出目標を五億四千万とし預金成績の上昇につれて長期貸付を開始する。

①個人会員に対し自己預金を担保として直接貸出を開始する
③生活文化資金（定期積金）の二分の一が積立てられたとき希望者に対し満期契約期まで低利貸付を行う。
④住宅建設資金の長期貸付を開始する。
⑤預金担保貸付及び十ケ月々賦償還貸付の利率を軽減する

ゴリ押しの政府與黨 〃数の暴力〃が誘因

阿具根参議の乱闘國会報告記

國会報告のため阿具根参議が社会黨左派野溝顧問、熊本教組出身矢島参議と共に十四日来牟、荒尾、大牟田で各三回の報告演説会を済ませ十七日朝には田川、山野に急行するというそがしい日程の中で特に次のような「亂闘國会始末記」を寄せられた。

第十九国会は開会劈頭から汚職、疑獄で持ち切り、最も大切な二十九年度の予算審議も上の空、しかもその汚職もいよ〳〵その頂点に達し、自由党幹事長佐藤栄作、政調会長池田勇人の身の上に迫り五年間の長い間国民の上に君臨し、憲法を踏みにじり、米国の走狗となつて一路戦争準備を進めて来た吉田内閣も汚職の名により葬り去られようとした瞬間、未だかつてない検察庁法第十四条の指揮権発動となり、当の犬養法務大臣は吉田への義理を果す為に国民を裏切り大臣の席を去り事実上汚職事件を中断してしまつた。しかもその間絶えず世紀の悪法たる防衛二法案、MSA協定の承認と、これに伴う機密保護法、教育二法案 警察法等々の法律案を、民主々義の美点である少数意見の尊重等には一顧だに与えずひたすら数の暴力で通過さすべく押しまくつて来た吉田総理は外遊を熱望、野党の質問にも答えず着々準備をすゝめ、外遊予定月の六月四日を目途に強引な強行突破を企てた。

直接の導火線

それは海外派兵禁止決議の採決

何時の国会でも幕切れ近くなれば与野党共殺気立つて来る。しかもその直接の発火点になつたのは何といつても参議院で行つた自衛隊の海外派遣禁止決議の採決であろう。この決議案は各党間了解の上で全員一致を以て可決される事になつていたのを自由党の滝井治三郎の裏切りにより多数として採択され、電波は世界各国にその事を報道した。これは単に一名の裏切りというにとゞまらず一部の者は日本軍隊の海外派遣を望んでいるという事を海外に喧伝したものでこれが自由党の作戦だとしたら實に悪らつ極まるやり方であり、自由党の不信をなじり警察法案の審議も休憩に入り三回にわたり延長した国会も遂に警察法の通過は不可能と見られるに至つた。これが六月一日の事である。そこで与党側は吉田総理の外遊を二日間延ばし、会期を四度延長の挙に出たが、これは表向であり、裏面では会期の二日延長によつて警察法を一挙に通過させ 吉田総理は予定通り六月四日午後六時にはパン・アメリカン機でアメリカに飛び立つ準備が進められていた。六月三日にはあらゆるうわさが國会内を飛んだ。吉田総理が国会の終了も待たずに外国に行く場合には労働組合は彼の自動車の前に立ちはだかるであろう、とか、テロ事件が起きるだろうとかの類いで、事実吉田総理が外遊を強行するような事があれば社会党は彼の自動車の前に立つ事位のことはやる可きだという考えは持つていた。

院外團の亂入

それが亂闘のもと

遂に六月三日午後八時第一の乱闘といわれる衆議院議事運営委員会が開かれた。自由党菅家委員長が始め十四、五人の議事運営委員が席につき、堤議長も同席、政府側説明員として福永官房長官で会議が開かれたが会期延長の問題になるや社会党（左）の山本幸一氏より衆議院には審議すべき法案はなく すべて参議院に廻つて居るのだから参議院の意見を聞くべきではないかとの質問がなされたのに対しても菅家委員長は何等の答弁をなさず、社会党（右）から質問の挙手があつたのにこれも受けつけず、直ちに採決に入り、第四回目の会期延長はわずか四、五分で強引にも押し切られた。このままで本会議に入れば昨年七月スト規制法通過の時のように国会のルールも無視した強行突破をやられるにちがいない。せまい会議室は総立ちとなり、社会党議員は口々に非を鳴らして堤議長につめ寄つた午后八時四十分ごろ突如後方からなだれ込んだ自由党院外団の為に大乱闘となり、右派左竹新一代議士は胸部を強打されて昏倒した。議長は彼等に取囲まれて自由党の控室に逃げ込んだ これが第一の乱闘といわれるのであり全く思ひも寄らぬ背后からの乱入暴行で抵抗さえ出来ぬアッという間の出来事であつた。（註！今では院外団とはいわないが事務員として自由党の控室で事務を取り、吉田総理が院内にある時は終始護衛としてそのまわりを取まいて居る）

警官を呼べ!!

自由黨が出動を要請

議長を議場に入れるなと社会党議員は議場の周囲に待機した。かくするうち午後十時三十分本会議開会のベルが鳴り、衛視（守衛）を先頭に自由党士西議員等が議長を守り自由党控室から殺倒して来た議場の入口で双方の押し合いへし合いの後、遂に議長は議場に入る事が出来ず、議長室へ逃げ込んだ以下新聞記事によると、廊下のスクラムをくぐりぬけ、もみくちゃになりながら自由党の山口喜久一郎、渡辺良夫両副幹事長、改進党の高瀬伝、椎熊三郎両代議士らが議長室に飛び込んで来た。このあたりから議長室の中は議長の堤さん等はもはやそつちのけでケンケゴウゴウの騒ぎとなつた。この中で興奮しきつた渡辺副幹事長が「こうなつたら警察を呼ぶんだ、そして片ツ端から検挙するんだ、それ以外に方法がない」とどなり散らしていたが、やがて上席らしい衛視の一人を連れて議長室にかけ込んだ。渡辺副幹事長はこの衛視を引張る様にして受話機をとらせ次の様に命じた。「警視庁の土田警備課長を呼べ。いなかつたらその下の者でもよい。議長の命だといえ。二百名をすぐ国会に出動させるんだ」これに対して忠実に警視庁あてに電話していた衛視は「現在警視庁にいないそうで取りあえず神楽坂署から四十名程呼ぶそうです。その他は…」と、そこまで答えた時、新聞記者が居るのに気付きあわてゝ追い出したということである。これを見てもわかる様に国会始つて以来、かつてない警官の国会乱入は、議長そこのけで自由党の手によつてなされたのである。

遂に警官隊出動

自由黨はまるで暴力團

十一時三十分ころ二百名近い警官は二手に別れ、議場の入口に殺到して来た。こゝで第三回の乱闘となつたのであるが、この廊下での警官との押し合いへし合いして居る時、議場内では堤つるよ代議士を始め、山口、戸叶、福田、萩元等の女代議士諸君が、男同志の暴力沙汰を緩衝する意味で議長席、大臣席に陣取つていたが、なだれ込んで来た自由党議員は優しい女の気持等はふみにじり打つけるなど乱暴の限りをつくした。以上紙面の都合もあり、極めて簡単に書きましたのでお判り難いと思いますが、一口に申上げれば三池労組の山ノ上事件をお考え下されば大体の模様がわかつて頂けるのではないかと思います。話合う為に交渉をし、逃げられない為にピケを張つたら五〇〇名の武装警官が来た しかし警官はピケの中に入らなかつたので乱闘にならなかつたが国会ではピケの中に突入したので遂に乱闘となつた。その善悪、是非は主権者の皆様にお決めを願う事としましても我々は率直に御心配かけた事をお詫び申します。

どろぬま（下）

平島敏治作
久慈惑一画

K子は夫に内緒で金を借りたことについては、罪悪感を感じてゐたし、なんとか最后までこれを包みかくして、早く返済しなければならないと云ふあせりは日を逐ふにつれ激しくなつた。

しかし夫の收入も、企闘以来少く 二人の子供を抱えての生活は決して楽ではなかつた。

その苦しい生活の中でも、吉村の利子取立ては、ますますひどくなつて来た。

「なあ今田さん 利子も二ケ月もたまたつちやけん どうな、払うとつの出来んなら、証書は三万六千円に書き直しなはれ。そうすると来月までまつけん」

面にくい様に 巻煙草を吹かしながら、強腰に催促する。

この吉村は終戦まで朝鮮で巡査をしていた引揚者で、彼も炭鉱生活は戦后派でこつこつとためた小金をもとに、六十三日のスト以来人の弱味につけ込んで夫婦で闇金融を社宅内で営んでゐる。

この夫婦の借金の取りたては、いはゆる金色夜叉型ともいうのかひどいもので、息を引きとろうとしている病人の枕もとでも、十五日ともなれば強腰で坐り込んでとりたてゝゆくし、払えないと証書の書きかえをさせて自分が保管するという方法をとつてゐる。

この吉村に対して、K子が太刀打の出来る筈もなく、三万六千円の証書に印を捺してしまふ状態である。翌月になつたら早速三千六百円の利子をとりたてに来た。夫が渡した少い給料より、支払つたものの、早速米の配給をうけるのに金策をなさねばならないことになつた。K子は遂にこれまで余り足を運ばなかつた久留米の実家へついに借金に廻る羽目になつた。

車中で彼女は、二人の結婚に反対した両親や兄夫婦に何んと言つたらよいか、このまゝ自殺をしたら、残る子供はどうなるか、くるくる廻る車外の景色の様に思考は錯綜してあつと思ふ間に久留米に到着してゐた。

実家の方には長男の病気といふことで一万円の金を借りたものゝ病気見舞の兄の手紙がもとで実家からの借金がわかり、ついに吉村からの借金も夫に知れることになつた。

性来生一本で、人の世話になることを嫌う今田を、よく知つてゐるK子は、内緒で金を借つたその責任は到底夫の許すところではなかろうと叱責を覚悟してゐると

「K子、お前は僕に内緒で金を借つたことをどう思つてゐるかね」

いつもとかわらぬ夫の言葉に、責められることより以上につらくただ涙が出るばかりで「済みません」と頭を下げるばかりだつた。

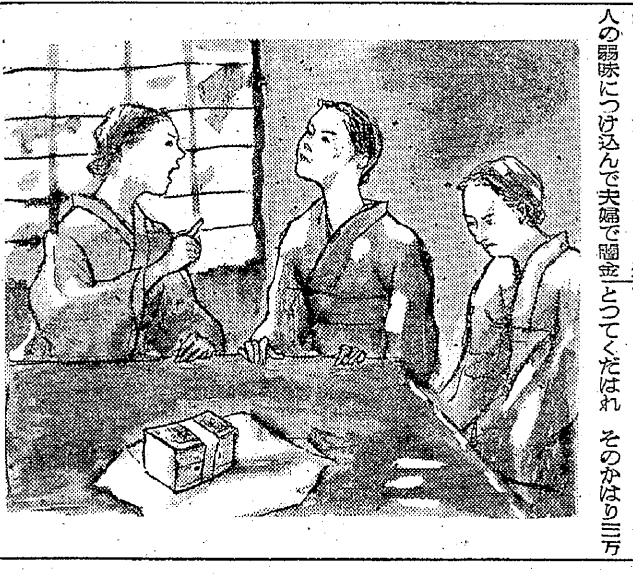
夫婦が今後の支払ひの問題などを話あつてゐる時 吉村夫婦があわてた恰好でかけつけて来た。

「あの……今田さん、私があんたたちに金ば貸しとつとは内緒にしとつてくだはれ そのかはり三万六千円は三万円だけでよかけん、いつちよたのんますばい」

これまでの、おうへいな態度とうつてかわつた、あわてた恰好である。

その翌日今田が借金返済のためこれまで一度も借つたことのない共済会資金の借用に組合事務所に出かけたところ、同じ社宅のAさんの家も同じ様に、奥さんが二百数十万円借金して、退職金を投出して、それを貸主達が一銭でも多くとるために、喧々囂々と、あたかもやせ狼が獲物をくひあらす様な恰好でわけあつたことが市警の探知する所となつて 昨夜一齊に呼出しをくつたわけで、吉村があわてたことも納得が出来た。

而し、Aさんの様に多額の金にのぼらず、退職もせずに返済のめどがついたことに安心し、これまでの一家の生活を十分反省して生活の設計をたてるために、妻とともに協力して行かねばならぬことを感じながら家路に急いだ。



類似品に御注意 包装商標（四山漬）をどうぞ
農林大臣賞 受領
西日本名産百選入選
大牟田名産
四ツ山漬
今村食品 小賣部 四ツ山県 TEL6329
大牟田市三川町 TEL6054.6330 出張所 京町 TEL3923

ラジオ・電蓄は故障もあります
オシロスコープ
スヰープゼネレター
シグナルトレッサー
バルボル
完全設備の
信用ある
株式会社 大徳ラジオ商会
東新町三作前 電2766
コロンビア・ラジオ
今好評の不用ラジオと変換販賣は8月20日限

宮浦・本所人事・港務所指定店
ナショナル優秀ラジオ月賦販賣
ナショナル・サンヨー代理店
ビクター特約店通産局指定ラジオサービス店
有限会社 青木電器商会
大牟田市日ノ出町一丁目 電4636
（舊合名会社山田屋電機商会です）

阿蘇？
雲仙？
御招待大賣出し
6月5日〜7月20日
チケット歓迎
時計は平賀時計店
大牟田市三川町四丁目